

「地域の人たちの心のよりどころでありたい」と話す住職の栗津信也さん(左)と妻で坊守の圭子さん(62)



被災前の姿によみがえった皆乗寺の本堂

寺は人々の心のよりどころ

田中地区にある「皆乗寺」の開山は、元禄7(1694)年の江戸中期。文化3(1806)年に現在の堂宇が再建され、その後200年にわたり受け継がれてきました。しかし、6年前の熊本地震で本堂や鐘楼、山門など甚大な被害を受けました。その後、町の重要文化財に指定され再建が進められて

きました。

復元された本堂は「古色塗装」などの特殊技術により、以前と同じ姿によみがえりました。去る4月30日には、本堂の落慶法要が行われ、感染対策を取りつつ「みんなのついでに皆乗寺まつり」がにぎやかに開催されました。「本来のお寺の存在は悩みを伺ったり、農繁期には子どもたちを預かり、寺子屋を開くなど、昔から地域の人の心のよりどころでした。地震の時も地域の方々が境内に避難され、みんな

まで支え合いました」と話すのは住職の栗津信也さん(63)です。栗津さんはそのことから「寺の原点回帰」を掲げ、地震の翌年にはコミュニケーションの場として同まつりを開催しました。「その時、『寺が復興したら、またこうして集いましょう』と皆さんに約束したんです」と言う栗津さんにとって本堂復旧と並び、イベント再開には深い思いが込められていました。晴天に恵まれた境内には飲食、物販のブースが置かれ、訪れた人たちの笑顔の花が咲いていました。

おしゃれでステキなセレクトショップ発見

今年3月、畑中地区の第五保育所の隣にオープンした、おしゃれなお店の「select shop Aeliy」を見つけました。

白壁のモダンな建物の中には、オーナーの有川彩香さん(26)がセレクトしたレディースウエアやアクセサリ、雑貨など出産祝いの贈り物に最適なアイテムがそろいます。

「子育てをしながらベビー用品のかわいらしさに魅せられてネットショップを開設していましたが、お客様の顔が見える商売がたくて、店舗兼住宅の店を構えました」と有川さん。陳列商品の中には、オムツケーキなど



上/県外から法要に駆けつけた栗津住職の娘さんたち家族



落慶法要に集まっていた門徒の皆さん。左から東美子さん(64)、島田チツコさん(71)、光永榮子さん(90)、元田信子さん(82)

右/祭りが行われた境内でお孫さんとラーメンを頬張っていた安田美喜夫さん(66)



境内で新鮮な野菜を元気に販売していた村上直子さん(64・左)と田上伊代子さん(70)



お花を販売していた倉本園芸の岩本美代子さん(53・左)と倉本清子さん(77)